

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第68号	発行日	令和6年12月16日(月)
	発行者	別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

○門松づくりとしめ飾りづくり (12/12)。

今年も地域の方々のご協力をいただき、中学生は運動場で門松づくりを、園児・児童はホールでしめ飾りづくりに取組みました。

特に門松は運動場下の道路からも見える立派なものです。しめ飾り(門松もですが)を目安に年神様がやってくるらしいよと子どもたちに伝えました。児童がしめ飾りを私の分まで作ってくれましたので、校長室に飾ってます。

開始前に家庭科室で講師の皆さんとお話をする中で、年を追うごとに行事への対応が難しくなっていくことなど伺いました。

園児・児童生徒にとっては、厳かに正月を迎える日本の習慣、その謂れ(年神様の目印等)など、あらためて学ぶことができる貴重な経験でした。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○交通安全運動期間中の街頭啓発活動について (12/11)。

大分県は「おおいた冬の事故ゼロ運動」(12月11日～12月17日)を実施中。東山地区は朝7時から鳥居の交差点付近で実施しました。地域の方々が寒い中、運転者に対して、啓発活動に取組まれました。

この取組に参加していて、よく感じるのですが、7時30分ごろから交通量が増加。特に県道から庄内や志高湖方面へ左折(あるいは右折)する車両が増加します。あらためて園児・児童生徒の送迎の際は、お気をつけください。冬場の道路凍結について、参加された地域の方に伺ったところ、側溝から道路にあふれた水が早朝凍結することがある。凍結対策の準備も含め、本校(園)の職員に伝えたところです。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○本校を見学した別府大学短期大学部学生さんの感想。

11月27日(水)に本校を見学した学生さん(教員採用、あるいは教員免許状取得希望)

21名の報告レポートを担当教授が整理して送ってくれました。気づきを要約し、ご紹介します。一人でも二人でも「教師」を目指し、教壇に立ってくるとよいですね。

①自然豊かで、農業体験などがあり、地域との交流を大切にされている②木造の温かみのある校舎のつくりと配置が特徴的③少人数ながら、多様性を大切にした教育の実践④教師と児童の距離がとても近く、授業中の様子など、今までの校外研修の中で、最も充実したものだった⑤教師が投げかけた問いに、子どもが自分なりに答えを導き出そうとする場面がみられた⑥少人数のため、子どもたちに「出番」がたくさんあるという説明を聞いて、自分にそんな経験がなかったことに気づいた⑦一人一人が違うことは当たり前という校長の言葉は新鮮⑧この学校で教育実習ができればよかった等々。